

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2021年7月30日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	美郷町教育委員会	代表者名	阿川俊治		
担当者部署	教育課	連絡先電話番号	0855-75-1217		
担当者役職	指導主事	担当者氏名	渡邊英明	連絡先E-mail	
住所	699-4692 島根県美郷町粕淵168				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤村 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	「ICTを効果的に活用した『個別最適な学び』と『協動的な学び』の実現～美郷町のアドバンテージをいかして～」というテーマで講演(90分の講演を2回)していただいた。最新の教育情報や美郷町の実態を踏まえ、子どもたちに育成すべき力や教育の方向性に関する貴重な示唆をいただいた。特に、複雑化・多様化した現代社会を生き抜く能力を育成するためには学力観の転換が不可欠であり、基礎学力としての情報スキルの重要性を学ぶことができた。諸外国と日本の実態を比較したり、先進地域の授業の様子を提示したりしながら、ICT活用を含めた子どもたちの学び方と教師の授業づくりや役割について大切にしていけるべき点等をご教示いただき、大変有意義であった。
アドバイザーへの要望事項	これまでにも来町いただき、ICT教育に関してご指導いただいていた。今後も、継続して本町のICT教育についてご指導いただきたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月28日	13時00分	16時30分	30	180
3-2. 派遣場所	会場名	みさと館	最寄駅	大田市駅	
	所在地	島根県邑智郡美郷町粕淵168	最寄駅からの交通手段	教育委員会担当者による送迎	
	派遣形態	支援・助言(実地)			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	美郷町小・中学校教職員、美郷町教育委員会	52人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	タブレット端末の導入期に比べると、日々の教育活動の中でタブレット端末の活用は日常的なものとなっている。また、その活用を支えるICT支援員の任用、高速通信回線の整備なども進めてきた。今後の本町のICT教育がさらに充実し、子どもたちに必要な資質・能力を育成するためにはどのようなことが重要か、本町が進めていくICT教育の方向性はどのようにあるべきかを明らかにする。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・ICTを効果的に活用し、子どもたちの「個別最適な学び」や「協動的な学び」を実現し、学習指導要領に示されている資質・能力を育成する。また、その学びを支える教職員の専門性や指導力の向上、環境整備の充実を図る。 ・令和の日本型学校教育(個別最適な学び、協動的な学び)を実現するために必要なICT活用能力の育成(児童生徒の活用能力と教職員に必要な指導力の育成)
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・学力観や授業観を転換すること。(教師主導の一斉授業による知識偏重教育からの脱却) ・21世紀型能力における基礎学力としての情報スキルと問題発見・解決能力育成の重要性。 ・教師は、個別最適化された学びのまとめ役(ラーニング・オーガナイザー)の役割を果たす。 ・学力の高い国や地域は、デジタル領域だけではなく、アナログの情報教育も重視しており、ICT活用という狭義のものではなく、人間教育としての情報教育が大切であること。 ・情報スキルを学ぶのではなく、学びの中に情報スキルが含まれていくことが大切であること。
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	・情報教育については、概して情報活用能力の育成をめざす傾向にあった。能力の育成だけではなく価値観の形成も加え、人格形成やよりよく生きる人間教育としての情報教育という視点が大切であることを学ぶことができた。 ・複雑で変化の激しい時代を生き抜く人材を育てるためにも、教師主導の授業からは脱却しなければならないこと。子どもが自分たちで問題を発見・解決し乗り越えていく力を育成すること。 ・秋田県八峰町の授業では、デジタルとアナログの最適な組合せ、体験を通して実感を得られる学び(一生忘れない知識となる学び)が創出されており、授業づくりのヒントとなった。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑦その他 ・本講演を通じた具体的な成果物はできていないが、参加した教職員は最新の教育情報や教育の方向性を学び、自分自身の学力観や授業観を振り返ったり、2学期以降の授業づくりにいかしたりすることができる貴重な機会となった。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	・「個別最適な学び」と「協動的な学び」を実現するための、今後の環境整備について。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事後のアンケートについては実施していなかった。参加者の思いや意見等を把握し、今後の研修会のあり方や取組の資料とすればよかった。次回は、アンケートを実施する。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ⑤その他
事業の最終的な目指す姿	・ICTを効果的に活用し、子どもたちの「個別最適な学び」や「協動的な学び」を実現し、学習指導要領に示されている資質・能力を育成する。また、その学びを支える教職員の専門性や指導力の向上、環境整備の充実を図る。

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

